

も膜下腔の狭小化 (high convexity tightness) を確認できればまず間違いなくiNPHであると最近は思っている (図2)。

「治る痴呆」という呼称もさることながら、この疾患の初発症状が歩行障害であり、痴呆の全く認められない歩行障害のみのケースにも多く出会うことから、「治る歩行障害」という呼称がよりふさわしいと思う。

数日前、家で急に歩けなくなり、かかりつけ医の往診を受けた患者さんが、脳梗塞発作を疑われ当科に紹介された。その脳CTを見るなり、「あ！iNPHだ」とうちの若いスタッフたちが同時に声を上げた。

今年は当院にとって、iNPH元年である。  
(本文中に出てくる患者さんには、直接公表の許可を得ていることを付記する)

## 表紙写真

### 春からの招待状

函館市医師会 水関 清

陽射しが日毎に強くなり、街路を雪解け水がひたすようになるころ、雪解けは、陽光に照らされる積雪の表面からではなく、路面から始まることにはじめて気付いた春のことをいつも思い出す。おなじころ、樹木の根元に現れる環状の雪解けの成因を同僚にたずねたところ、春の息吹がもたらす生物のエネルギーがそうさせるのだらうというロマンチックな答えだった。樹木だけではなく草の茎や電柱の回りにも雪のくぼみはみられ、南向きに深く北向きには浅い。

試みに銀紙と黒い紙を周囲に巻きつけてみると、銀紙の周囲の雪解けは進み、これらの現象は陽光の反射によるものと考えられた。

山の雪解けの訪れもさまざまな因子に支配されるようで、道南の秀峰・駒ヶ岳の雪解けは、見上げる左の峰からいつも始まる。春が開けていくにつれて残雪の位置も変わっていき、季節のうつろうさまを視覚に訴える。

山麓ではサラブレッドの交歓がみられ、山菜収穫のたよりもきかれる。

## 専門部から

### 道医シリーズ第44篇「メンタルヘルスケア」 「はがき解答」による自宅学習評価事業の正解発表

◇学術部◇

冊子道医シリーズ第44篇 (生涯教育シリーズⅩⅢ)「メンタルヘルスケア」(3月1日発送)で「はがき解答」による自宅学習評価事業を実施いたしました。

ご参加いただいた会員からは、「勉強になった」「何度も読み返した」などの感想を頂きました。誠にありがとうございました。

3月31日で参加を締め切りましたので、正解を発表いたします。自己採点の参考にして下さい。

#### 設問と正解番号

問1. 3	問2. 2	問3. 3
問4. 1	問5. 1	問6. 2
問7. 3	問8. 2	問9. 2
問10. 1	問11. 2	問12. 2
問13. 2	問14. 1	問15. 3
問16. 2	問17. 3	